

経営学委員会・総合工学委員会合同 サービス学分科会

サービス学の教育実装に関する小委員会 (第24期・第3回)

議事録

1. 日時 平成30年10月24日(水) 14:00~16:15
2. 会場 日本学術会議5階5-C
3. 出席者 鈴木久敏、西尾チヅル、平田貞代、山本昭二(五十音順、敬称略)
欠席者 大倉典子、柘植綾夫、椿広計(敬称略)
参考人 筑波大学社会工学専攻 専攻長 教授 吉瀬章子 先生
4. 議事概要
 - 1) サービス学教育実装の今後のアクションに関する討議
 - ・委員長山本先生から提供された、配布資料1「サービス学小委員会でのこれからの議論について」に基づき、サービス学教育実装について討議を行った。
 - ・今後の主な目的として、サービス学参照基準に“サービスの提供および具体的な提供物”という側面を補足し自然科学および社会科学の各学問分野への展開すること、サービス学教育学修後のキャリア形成に結びつく科目やカリキュラムの設計を学部と大学院に分けて検討すること、などがあげられる。
 - 2) 筑波大学のサービス工学学位プログラムに関する情報共有
 - ・参考人として招いた筑波大学吉瀬先生から提供された、配布資料2「筑波大学におけるサービス工学の取り組み」に基づく情報共有の後、サービス学の教育実装について討議を行った。
 - ・本プログラムでは、“共同研究を希望する企業からの授業や研究への協力”と“恵まれた環境での学生による研究成果の提供”との循環型教育として成功している。アクションリサーチを含む産官学連携修士論文の執筆を修了条件とすることで、応用研究と理論研究を両立している。一方、社会との積極的な係わりを構築できる融合領域の教員の維持が不可欠であり、今後も継続的に努力する必要がある。
 - 3) 今後の予定
 - ・来年度に実施予定のシンポジウムの開催時期は夏の終わりから秋にかけてとなるだろう。シンポジウムに備え、分科会の2018年度末のまとめが必要である。その前に、各小委員会は分科会に対し活動報告をまとめる必要がある。
 - ・本小委員会は2019年1月頃開催する予定である。 以上